

## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	まめつ 一般国道264号 豆津バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	福岡県										
起終点	起点：福岡県久留米市大石町 終点：福岡県久留米市白山町	延長	1.5 km												
事業概要	久留米市内の交通混雑の解消を目的とし、延長1.5kmの4車線（暫定2車線で事業化）道路として、平成8年度から事業着手している。														
H8年度事業化	S52年度都市計画決定 (H 年度変更)	H9年度用地着手	H14年度工事着手												
全体事業費	149億円	事業進捗率	51%	供用済延長	0 km										
計画交通量	25,600台/日														
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.9 (残事業) 7.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 58/143億円 〔事業費：56/142億円〕 〔維持管理費：1/1億円〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 410/410億円 〔走行時間短縮便益：405/405億円〕 〔走行費用減少便益：5/5億円〕 〔交通事故減少便益：0/0億円〕	基準年	平成17年										
感度分析の結果	なし														
事業の効果等	円滑なモビリティの確保、都市の再生				他2項目に該当										
関係する地方公共団体等の意見	県南総合開発促進会議及び久留米広域市町村圏事務組合より、毎年早期完成の要望がなされている。														
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	九州新幹線鹿児島ルート（平成22年度末開業予定）の久留米駅が、既存JR久留米駅に併設される予定であり、周辺道路の整備が必要である。事業採択以前の平成6年度の自動車交通量18,520台/日から平成11年度の交通量19,884台/日と約1割の交通量増加となっている。														
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成17年度末までに51%の事業進捗の予定である。 残事業：物件14件、用地面積3,400㎡、橋梁1橋、JR立体交差部工事、舗装工事L=1.5km														
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	JR鹿児島本線及び久大本線との立体交差工事に約5カ年を要する。九州新幹線工事も同時期に行われるので十分な調整を行い、事業を進捗していく。														
施設の構造や工法の変更等	路床安定処理による舗装厚の薄層化、リサイクル材（再生As、再生Cr）の使用などを行っている。今後もJR立体交差部の施工法の検討や建設発生土の有効利用などを図りコスト縮減に努めていく。														
対応方針	継続														
対応方針決定の理由	本路線は佐賀県東部と福岡県南地域の中核都市である久留米市を結ぶ主要幹線である。さらに第1次緊急輸送道路ネットワークに指定されている。しかし、現道には商店や住宅等が連担しており、幅員が狭小でカーブが連続し、交通量も多いため、交通混雑・交通事故が多発し、その機能を十分に果たせない状況にある。さらに、本路線は、新幹線久留米駅の併設が決定した既存久留米駅周辺の都市計画道路と一体となり、駅へのアクセス向上に寄与する路線である。そのため早急な改善が求められている。														
事業概要図	<table border="1" style="float: left; margin-right: 20px;"> <tr><th>凡</th><th>例</th></tr> <tr><td>■■■■■</td><td>供用中</td></tr> <tr><td>■■■■■</td><td>事業中</td></tr> <tr><td>//////</td><td>再評価箇所</td></tr> <tr><td>○○○○</td><td>調査中</td></tr> </table>					凡	例	■■■■■	供用中	■■■■■	事業中	//////	再評価箇所	○○○○	調査中
凡	例														
■■■■■	供用中														
■■■■■	事業中														
//////	再評価箇所														
○○○○	調査中														

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

